

2024 年を核兵器廃絶の大きな前進の年に 日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准を

核兵器禁止条約発効3年、さらに前進を

新しい年、2024 年がはじまりました。

昨年は、ウクライナへのロシアの侵略が長引くなか、イスラエルによるガザへの軍事侵攻、市民への大量無差別攻撃という無法行為が起きました。これら人間の尊厳も、国際法も踏みにじる許しがたい行為に対し、国際社会は国連を中心に、ロシア軍の撤退、ガザ侵攻の即時停戦を求めつづけています。「国連憲章を守れ」「ガザ侵攻をいまずぐやめよ」の声をあげつづけてみましょう。

核兵器の使用の威嚇もくりかえされました。核兵器は戦争を抑止するどころか、その戦争と殺戮、支配を強要する最悪の手段であることは明らかです。核兵器の非人道性を告発し、核兵器の使用と威嚇を禁止する核兵器禁止条約（TPNW：1/22 発効 3 周年）が、核兵器保有国を包囲し、その使用の手を縛っています。この力をさらに前進させることが、ことしの大きな課題です。

日本は「唯一の戦争被爆国」の役割果たして

昨年ニューヨークの国連本部で開催された（11/27～12/1）TPNW 第 2 回締約国会議には、59 の締約国とオブザーバーとして 35 カ国が出席。市民社会の代表 122 団体も参加し、「核兵器のない世界」への希望を示す会議として成功をおさめました。日本政府は今回もオブザーバー参加さえ拒否しました。参加国から「なぜここに日本はいないのか」と不信の声があがりました。

日本政府が唯一の戦争被爆国として、また戦争放棄の憲法を持つ国として、核兵器禁止条約に直ちに参加し、核兵器廃絶を先頭に立って世界によびかけることを求めましょう。

「日本は核兵器禁止条約に署名・批准を」の思いを署名に託してください。（2024・1・6）



署名にご協力ください
ヒシマンナガサキをくりかえさないために！

日本政府は
核兵器禁止条約に署名・批准を



「日本政府に核兵器禁止
条約の署名・批准を求める
署名」ページ QR コード



国連認証NGO：原水爆禁止日本協議会（日本原水協）
〒113-8464 東京都文京区湯島2丁目4-4
TEL 03-5842-6031 HP: <http://www.antiatom.org>
E-mail antiatom55@hotmail.com